

はじめに

日本にはすべての国民が健康的な生活を送ることができるように、国民皆保険制度というものがあります。本制度により、むし歯や歯周病、歯の欠損を中心としたお口のトラブルを保険制度により治療することができます。保険制度による治療は決して悪いものではなく、しっかりと定期的にお口の手入れをすれば、良好な状態を長期間保つことができます。

一方、それらの保険制度で使用できる材料と方法には限界があるため、保険外治療（自費治療）を用いると、より高い審美性や機能性を得ることができます。しかしながら、いくら自費治療をしても定期的なメンテナンスを怠ればその寿命は短くなってしまいます。治療終了はゴールではなく、そこからがスタートなのです。

したがって我々歯科医療スタッフは自費治療を少しでも長持ちさせるために、詳細な診査・診断のもと、多くの事前準備をし、治療時間をかけて治療をすすめていきます。すなわち、自費治療は単に良質な歯科材料を用いるだけでなく、治療に費やす多くの時間が必要になるのです。

そこで本書では自費治療を成功させるために、歯科医療スタッフが取り組んでいる様々なステップをご紹介します。

歯科審美学とは

この患者さんは歯の着色を気にするあまり、人と話すことに極度の不安を持つようになり、心療内科に通院している方です。小さな頃、歯科治療で非常に痛い思いをしたのがトラウマとなり歯科医院には何十年も通院していませんでした。



心療内科の先生と相談し、まず歯の着色をPMTC (Professional Mechanical Tooth Cleaning) にて取り除くことにしました。

PMTCは痛みを伴わないため、この患者さんは歯の着色を取り除くことができました。これをきっかけに他の部位の歯科治療に通院できるようになりました。さらに今では人と話すことの不安感はほとんどなくなり、心療内科での治療も必要なくなりました。



すなわち歯科審美学とは単に形態や色調の審美的な改善だけでなく、機能や心理的な問題を改善する学問なのです。

また審美歯科治療の成功の鍵は、我々医療従事者だけでなく、患者さん自身の積極的な治療への取り組みがとても重要となります。治療後もプロフェッショナルケアとセルフケアをしっかりと継続させることにより、良好な状態を継続させることができます。

メンテナンスを必要としない高級車はありません！

しかしメンテナンスを続けている高級車ほど素晴らしいものではありません！